

# 山岳トンネルの自動化施工等活用促進に向けた有識者会議

## 設置趣旨

建設業界では、我が国が直面している人口減少の中、他産業と比較して高齢化率が高く建設事業の担い手不足が深刻化しており、労働者の減少や熟練技術者の不足が課題となっている。また、過去から3Kと呼ばれたように危険な作業環境があり、その対策が求められている。こうしたことから、自動施工技術等の普及・促進による省人化や安全性の向上が求められている。

この状況下、急速に進展するデジタル技術を活用し、これまでのi-Constructionの取組を深化させたi-Construction2.0を踏まえ建設施工の省人化・自動化及び安全性向上の開発が建設企業及び建設機械メーカー等を中心に進められ、ダム現場や大規模土工現場において導入の検討が進んでいる。

そこで、「山岳トンネルの自動化施工の試行工事」として、自動施工技術の適用が有効となり得る工事現場にて、総合的に価値の最も高い工法が採用されることを目的に総合評価落札方式「技術提案評価型SI型」を円滑に活用し、必要となる技術基準類の整備について検討を行うこととし、関係する有識者及び行政機関からなる分野横断的な「山岳トンネルの自動化施工等活用促進に向けた有識者会議」を設置する。